

大学番号：私169

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

松本大学 教育学部 学校教育学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人松商学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ダイガクシ ムキョクチョウ シバタ コウイチ
大学事務局長 柴田 幸一

電話番号 0263-48-7200

（夜間） 090-3093-5169

F A X 0263-48-7290

e-mail koichi.shibata@matsu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

<学校教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 松商学園

(2) 大学名

松本大学

(3) 大学の位置

〒390-1295
長野県松本市新村2095番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カタクラ ヤスユキ) 片倉 康行 (平成27年6月1日)		
学長	(スミヨシ ヒロユキ) 住吉 廣行 (平成28年4月1日)		
学部長	(カワシマ カズオ) 川島 一夫 (平成29年4月1日)		
学科長等	(キシダ ユキヒロ) 岸田 幸弘 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 学校教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	0.85倍	
志願者数	- () []	- () []	- () []	- () []	278 () []	- () []	189 () []	- () []		
受験者数	- () []	- () []	- () []	- () []	267 () []	- () []	185 () []	- () []		
合格者数	- () []	- () []	- () []	- () []	144 () []	- () []	135 () []	- () []		
B 入学者数	- () []	- () []	- () []	- () []	65 () []	- () []	72 () []	- () []		
入学定員超過率 B/A	-		-		0.81		0.90			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	65 [—] (—)	— [—] (—)	72 [—] (—)	— [—] (—)				
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	59 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次	/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/		/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	65 [—] (—)	— [—] (—)	131 [—] (—)	— [—] (—)				

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	65 人	6 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	6 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(4名)、経済的困窮(1名)、就学意欲の低下(1名)
平成30年度	72 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
合計	137 人	6 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{65} = \boxed{9.23} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 学校教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			9	7	2			
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			9	7	2			
コンベンション	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒューマン	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2			1				
	心理学概論	1前		2		1					
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2		1					
	生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1前	1				1				2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1				1				2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1		1					
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
国際経済	2後		2							1	
地域の歴史	1前		2							1	
地域と文学	1後		2			1					
地域の伝統行事	2前		2							1	
地域社会と学校教育	3前		2			1					
地域経済史	3前		2							1	
地域課題研究	1前・後		2			1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2			1				
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1				10	7	5		
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1				10	7	5		
コンベンション	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒューマン	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2				1	1		
	心理学概論	1前		2		1					
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2		1					
	生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1前	1					1			2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1					1			2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1		1					
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
国際経済	2後		2							1	
地域の歴史	1前		2							1	
地域と文学	1後		2				1				
地域の伝統行事	2前		2							1	
地域社会と学校教育	3前		2			1					
地域経済史	3前		2							1	
地域課題研究	1前・後		2					1	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ヒューマンベシックス	日本文化	1前		2							1
	異文化理解	1前		2		1					
	比較文化	1後		2							1
	文化人類学	3前		2							1
	音楽の歴史と鑑賞	3前		2			1				
	海外研修Ⅰ	1,2,3前		2							1
	海外研修Ⅱ	1,2,3前		2							1
	海外事情Ⅰ	1,2,3前		2							1
	海外事情Ⅱ	1,2,3前		2							1
	数学の基礎	1前		2							1
	生物学の基礎	1前		2							1
	化学の基礎	1後		2							1
	基礎統計学	2前		2							1
	地球環境と人間生活	2後		2							1
地域環境と生態	3前		2							1	
ごみ処理と循環型社会	3後		2							1	
環境社会学	3後		2							1	
キャリア形成	キャリア入門	1前		2							1
	キャリアデザインⅠ	3前		1							1
	キャリアデザインⅡ	3後		1							1
	ワークインフォメーション	4後		2							1
	学校ボランティア活動	1後		1		2	1				
専門基礎科目	教職論(初等)	1前	2			1					
	教育基礎論(初等)	1後	2				1				
	教育史(初等)	3前		2			1				
	教育心理学(初等)	2前	2			1					
	発達心理学(初等)	3前	2			1					
	教育制度論(初等)	2前	2			1					
	学校経営(初等)	3後		2		1					
	教育課程総論(初等)	2後	2			1					
	初等国語科指導法	1後	2				1				
	初等社会科指導法	2後	2				1				
	初等算数科指導法	2前	2			2					
	初等理科指導法	2後	2			1	1				
	初等生活科指導法	2前	2				2				
	初等英語科指導法	3後	2				1				
	初等音楽科指導法	2後	2								1
	初等図画工作科指導法	2後	2								1
	初等家庭科指導法	2前	2								1
	初等体育科指導法	2前	2				1				
	道德教育指導論(初等)	2前	2				1				
	特別活動指導論(初等)	2後	2				1				
教育方法論(初等)	1前	2				1					
生徒指導・進路指導(初等)	2後	2				2					
教育相談(初等)	2後	2				2					
国語科概論	1前	2				1					
社会科概論	2前	2				1					
算数科概論	1前	2			1						
自然科学概論	2前	2				1					
生活科概論	1後		2			2					
英語科概論	2前		2			1					
音楽(歌唱)	1前	1					1				
音楽(器楽)	1後		1					1			
基礎造形Ⅰ	1後		1							1	
基礎造形Ⅱ	1後		1							1	
家庭科概論	1前		2							1	
体育Ⅰ	1前	1				1					
体育Ⅱ	2前	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヒューマンベシックス	日本文化	1前		2								1
	異文化理解	1前		2				1				
	比較文化	1後		2								1
	文化人類学	3前		2								1
	音楽の歴史と鑑賞	3前		2					1			
	海外研修Ⅰ	1,2,3前		2								1
	海外研修Ⅱ	1,2,3前		2								1
	海外事情Ⅰ	1,2,3前		2								1
	海外事情Ⅱ	1,2,3前		2								1
	数学の基礎	1前		2								1
	生物学の基礎	1前		2								1
	化学の基礎	1後		2								1
	基礎統計学	2前		2								1
	地球環境と人間生活	2後		2								1
地域環境と生態	3前		2								1	
ごみ処理と循環型社会	3後		2								1	
環境社会学	3後		2								1	
キャリア形成	キャリア入門	1前		2								1
	キャリアデザインⅠ	3前		1								1
	キャリアデザインⅡ	3後		1								1
	ワークインフォメーション	4後		2								1
	学校ボランティア活動	1後		1					1	3		
専門基礎科目	教職論(初等)	1前	2				1					
	教育基礎論(初等)	1後	2						1	1		1
	教育史(初等)	3前		2						1		
	教育心理学(初等)	2前	2				1					
	発達心理学(初等)	3前	2				1					
	教育制度論(初等)	2前	2				1					
	学校経営(初等)	3後		2			1					
	教育課程総論(初等)	2後	2				1					1
	初等国語科指導法	1後	2					1				
	初等社会科指導法	2後	2					1				
	初等算数科指導法	2前	2					1		1		
	初等理科指導法	2後	2					1				
	初等生活科指導法	2前	2					2				
	初等英語科指導法	2後	2					1				
	初等音楽科指導法	2後	2									1
	初等図画工作科指導法	2後	2									1
	初等家庭科指導法	2前	2									1
	初等体育科指導法	2前	2					1				
	道德教育指導論(初等)	2前	2					1				
	特別活動指導論(初等)	2後	2					1				
教育方法論(初等)	1前	2					1				2	
生徒指導・進路指導(初等)	2後	2					2					
教育相談(初等)	2後	2					2					
国語科概論	1前	2					1					
社会科概論	2前	2					1					
算数科概論	1前	2					1					
自然科学概論	2前	2					1					
生活科概論	1後		2				2					
英語科概論	2前		2				1					
音楽(歌唱)	1前	1							1			
音楽(器楽)	1後		1						1			
基礎造形Ⅰ	1後		1								1	
基礎造形Ⅱ	1後		1								1	
家庭科概論	2前		2								1	
体育Ⅰ	1前	1					1					
体育Ⅱ	2前	1					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用	国語科教材研究	2-3前		1			1					
	社会科教材研究	2-3後		1			1					
	算数科教材研究	2-3後		1		1						
	理科教材研究	2-3後		1			1					
	英語科教材研究	3-4前		1			1					
	体育科教材研究	2-3後		1			1					
	国語科教材演習	3-4前		1			1					
	算数科教材演習	3-4後		1		1						
	授業法の基礎	2前		2			1					
	教育制度研究	3前		2			1					
	教育史研究	3後		2				1				
	教職教養特別演習	3後		1			1	1				
	特別支援教育入門	1後	2				2		1			
	子どもの学びをつくる	3前		2			1					
	義務教育の未来を考える	3後		2			1					
	学校心理学	3前		2			1					
	認知心理学	3後		2			1					
	臨床心理学(発達障害入門)	3後		2			1					
	カウンセリング入門	3後		2			1					
発展	介護等体験入門	1後	1				1	1				
	地域活動実習	2前		1				2				
	学校インターンシップ	2後		1				3				
	教育実践特講	2後		2			1	1				
	地域学校教育活動	3前・後		1				2	1			
科目	初等教育実習事前・事後指導	2後~3後		1			1	1				
	初等教育実習	3通		4				2				
	教職実践演習(初等)	4後		2			2	1				
	特別支援教育総論	2前		2			1		1			
	知的障害児の心理・生理・病理	3前		2			1					1
	肢体不自由児の心理・生理・病理	3後		2			1					1
	病弱児の心理・生理・病理	3後		2								2
	知的障害児の教育課程と指導法	3前		2			1					1
	肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2								1
	病弱児の教育課程と指導法	3後		2								2
	視覚障害児教育総論	3後		2								1
	聴覚障害児教育総論	3前		2								1
	発達障害児・者の支援と教育	3前		2			2		1			1
	障害児臨床支援演習Ⅰ	2前		2			1		1			1
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前		2			1		1			1	
特別支援学校教育実習	4通		3			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用	国語科教材研究	2-3前		1				1				
	社会科教材研究	2-3後		1				1				
	算数科教材研究	2-3後		1				1		1		
	理科教材研究	2-3後		1				1				
	英語科教材研究	3-4前		1				1				
	体育科教材研究	2-3後		1				1				
	国語科教材演習	3-4前		1				1				
	算数科教材演習	3-4後		1			1			1		
	授業法の基礎	2前		2				1				
	教育制度研究	3後		2				1				
	教育史研究	3後		2					1	1		
	教職教養特別演習	3後		1				1	1			
	特別支援教育入門	1後	2					2		1		
	子どもの学びをつくる	3前		2				1				
	義務教育の未来を考える	3後		2				1				
	学校心理学	3前		2				1				
	認知心理学	3後		2				1				
	臨床心理学(発達障害入門)	3後		2				1				
	カウンセリング入門	3後		2				1				
発展	介護等体験入門	2前	1					1	2			
	地域活動実習	2前		1					2			
	学校インターンシップ	2後		1					3			
	教育実践特講	2後		2				1	1			
	地域学校教育活動	3前・後		1					1	2		
科目	初等教育実習事前・事後指導	2後~3後		1				1	1			
	初等教育実習	3通		4					2			
	教職実践演習(初等)	4後		2				2	1			
	特別支援教育総論	2前		2				1		1		
	知的障害児の心理・生理・病理	3前		2				1				1
	肢体不自由児の心理・生理・病理	3後		2				1				1
	病弱児の心理・生理・病理	3後		2								2
	知的障害児の教育課程と指導法	3前		2				1				1
	肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2								1
	病弱児の教育課程と指導法	3後		2								2
	視覚障害児教育総論	3後		2								1
	聴覚障害児教育総論	3前		2								1
	発達障害児・者の支援と教育	3前		2				2		1		1
	障害児臨床支援演習Ⅰ	2前		2				1		1		1
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前		2				1		1		1	
特別支援学校教育実習	4通		3				2		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目												
	教職入門ゼミナール	2前	1			9	7	2				
	教職研究基礎ゼミナール	2後	1			9	7	2				
	教職研究ゼミナール	3通	2			9	7	2				
	卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	4通	4			9	7	2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目	英語学概論	3前		2						1		
	英語音声学概論	2後		2						1		
	英語史概論	3前		2						1		
	英語発声演習	3後		2						1		
	英文法演習	3後		2						1		
	英米文学概論	3前		2								1
	英米文学演習 I	3後		2								1
	英米文学演習 II	3後		2								1
	Reading I	1前		2						1		1
	Reading II	2前		2						1		1
	Public Speaking	2前		2						1		1
	Writing Skills I	1後		2						1		1
	Writing Skills II	2後		2						1		1
	Discussion & Presentation	3前		2						1		1
	Communicative English I	3前		2						1		1
	Communicative English II	3後		2						1		1
	TOEIC総合演習 I	3前		2								1
	TOEIC総合演習 II	3後		2								1
	TOEIC総合演習 III	4前		2								1
	TOEIC総合演習 IV	4後		2								1
	TOEFL演習 I	2前		2								1
	TOEFL演習 II	2後		2								1
	異文化理解概論	1後		2						1		
英語圏文化演習 I	3前		2						1			
英語圏文化演習 II	3後		2						1			
異文化交流海外研修	2前		2						1			
国際交流演習	2前・後		2						1			
英語科指導法 I	2前		2						1			
英語科指導法 II	2後		2						1			
英語科指導法 III	3前		2						1			
英語科指導法 IV	3後		2						1			
教職入門ゼミナール	2前	1							10	7	5	
教職研究基礎ゼミナール	2後	1							10	7	5	
教職研究ゼミナール	3通	2							10	7	5	
卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	4通	4							10	7	5	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			9	7	3			
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			9	7	3			
コモンベシックス	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒューマンベシックス	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2			1				
	心理学概論	1前		2		1					
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2		1					
	生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1前	1				1				2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1				1				2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1		1					
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
国際経済	2後		2							1	
ヒューマンベシックス	地域の歴史	1前		2							1
	地域と文学	1後		2			1				
	地域の伝統行事	2前		2							1
	地域社会と学校教育	3前		2			1				
	地域経済史	3前		2							1
	地域課題研究	1前・後		2			1				
	日本文化	1前		2							1
異文化理解	1前		2			1					
比較文化	1後		2							1	
文化人類学	3前		2							1	
音楽の歴史と鑑賞	3前		2				1				
海外研修Ⅰ	12・3・4期		2							1	
海外研修Ⅱ	12・3・4期		2							1	
海外事情Ⅰ	12・3・4期		2							1	
海外事情Ⅱ	12・3・4期		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヒューマンベシックス	数学の基礎	1前		2								1
	生物学の基礎	1前		2								1
	化学の基礎	1後		2								1
	基礎統計学	2前		2								1
	地球環境と人間生活	2後		2								1
	地球環境と生態	3前		2								1
	ごみ処理と循環型社会	3後		2								1
環境社会学	3後		2								1	
キャリア形成	キャリア入門	1前		2								1
	キャリアデザインⅠ	3前		1								1
	キャリアデザインⅡ	3後		1								1
	ワークインフォメーション	4後		2								1
	学校ボランティア活動	1後		1			2	2				
専門基礎科目	教職論(初等)	1前	2			1						
	教育基礎論(初等)	1後	2				1					1
	教育史(初等)	3前		2			1					
	教育心理学(初等)	2前	2			1						
	発達心理学(初等)	3前	2			1						
	教育制度論(初等)	2前	2			1						
	学校経営(初等)	3後		2		1						
	教育課程総論(初等)	2後	2			1						1
	初等国語科指導法	1後	2				1					
	初等社会科指導法	2後	2				1					
	初等算数科指導法	2前	2			1		1				
	初等理科指導法	2後	2			1						
	初等生活科指導法	2前	2				2					
	初等英語科指導法	3後	2				1					
	初等音楽科指導法	2後	2									1
	初等図画工作科指導法	2後	2									1
	初等家庭科指導法	2前	2									1
	初等体育科指導法	2前	2				1					
	道徳教育指導論(初等)	2前	2				1					
	特別活動指導論(初等)	2後	2				1					
教育方法論(初等)	1前	2				1					2	
生徒指導・進路指導(初等)	2後	2				2						
教育相談(初等)	2後	2				2						
国語科概論	1前	2					1					
社会科概論	2前	2					1					
算数科概論	1前	2				1						
自然科学概論	2前	2					1					
生活科概論	1後		2				2					
英語科概論	2前		2				1					
音楽(歌唱)	1前	1						1				
音楽(器楽)	1後		1					1				
基礎造形Ⅰ	1後		1								1	
基礎造形Ⅱ	1後		1								1	
家庭科概論	2前		2								1	
体育Ⅰ	1前	1					1					
体育Ⅱ	2前	1					1					
専門応用・発展科目	国語科教材研究	2・3前		1				1				
	社会科教材研究	2・3後		1				1				
	算数科教材研究	2・3後		1			1		1			
	理科教材研究	2・3後		1				1				
	英語科教材研究	3・4前		1				1				
	体育科教材研究	2・3後		1				1				
	国語科教材演習	3・4前		1				1				
	算数科教材演習	3・4後		1			1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目	授業法の基礎	2前		2		1						
	教育制度研究	3前		2		1						
	教育史研究	3後		2			1					
	教職教養特別演習	3後		1		1	1					
	特別支援教育入門	1後	2			2		1				
	子どもの学びをつくる	3前		2		1						
	義務教育の未来を考える	3後		2		1						
	学校心理学	3前		2		1						
	認知心理学	3後		2		1						
	臨床心理学(発達障害入門)	3後		2		1						
	カウンセリング入門	3後		2		1						
	介護等体験入門	1後	1				1	1				
	地域活動実習	2前		1			2					
	学校インターンシップ	2後		1			3					
	教育実践特講	2後		2		1	1					
	地域学校教育活動	3前・後		1			2	1				
	初等教育実習事前・事後指導	2後～3後		1		1	1					
	初等教育実習	3通		4			2					
	教職実践演習(初等)	4後		2		2	1					
	特別支援教育総論	2前		2		1		1				
	知的障害児の心理・生理・病理	3前		2		1						1
	肢体不自由児の心理・生理・病理	3後		2		1						1
	病弱児の心理・生理・病理	3後		2		2						2
	知的障害児の教育課程と指導法	3前		2		1						1
	肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2		2						1
病弱児の教育課程と指導法	3後		2		2						2	
視覚障害児教育総論	3後		2								1	
聴覚障害児教育総論	3前		2								1	
発達障害児・者等の支援と教育	3前		2		2		1				1	
障害児臨床支援演習Ⅰ	2前		2		1		1				1	
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前		2		1		1				1	
特別支援学校教育実習	4通		3		2		1					
教職入門ゼミナール	2前	1			9	7	3					
教職研究基礎ゼミナール	2後	1			9	7	3					
教職研究ゼミナール	3通	2			9	7	3					
卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会む)	4通	4			9	7	3					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・留意事項への対応により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師2」から「教授9、准教授7、講師3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「学校ボランティア活動」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「准教授2、講師2」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「教育基礎論（初等）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「教育課程総論（初等）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「初等算数科指導法」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、講師1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「初等理科指導法」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「教育方法論（初等）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「家庭科概論」の配当年次を「1年前期」から「2年前期」に変更。
- ・留意事項への対応により、「算数科教材研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「算数科教材演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「発達障害児・者の支援と教育」の科目名を「発達障害児・者等の支援と教育」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「障害児臨床支援演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、兼任1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「障害児臨床支援演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、兼任1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「教職入門ゼミナール」「教職研究基礎ゼミナール」「教職研究ゼミナール」「卒業研究専門ゼミナール（卒業研究含む）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師2」から「教授9、准教授7、講師3」に変更。

【平成30年度】

- ・専任教員の採用により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師3」から「教授10、准教授7、講師5」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「子どもの育ちと教育」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「地域課題研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「学校ボランティア活動」の専任教員等の配置を「准教授2、講師2」から「准教授1、講師3」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育基礎論（初等）」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「講師1、兼任1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育史（初等）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「教育制度論（初等）」の配当年次を「2年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「学校経営（初等）」の配当年次を「3年後期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「初等英語科指導法」の配当年次を「3年後期」から「2年後期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「教育制度研究」の配当年次を「3年前期」から「3年後期」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育史研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「介護等体験入門」の配当年次を「1年後期」から「2年前期」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「介護等体験入門」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「講師2」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「地域学校教育活動」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「准教授1、講師2」に変更。
- ・英語教育を強化することを目的に、中学校・高等学校一種免許状（英語）取得に必要な授業科目を配置するために、科目区分「専門応用・発展科目」に「英語教育に関する科目群」として31科目62単位（すべて選択科目）を追加。
- ・専任教員の採用により、「教職入門ゼミナール」「教職研究基礎ゼミナール」「教職研究ゼミナール」「卒業研究専門ゼミナール（卒業研究含む）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師3」から「教授10、准教授7、講師5」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
45 科目	100 科目	0 科目	145 科目	45 科目 [0]	131 科目 [31]	0 科目 [0]	176 科目 [31]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	地域課題研究	2	1年次	一般	選択	担当教員の急な辞任による。代替措置として後任教員によって次年度開講する。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「地域課題研究」は、担当を予定していた教員が急遽辞任したことに伴い、平成29年度は「開講せず」とした。本科目については後任となる教員を新たに採用し、平成31年度に開講予定である。1年次開講科目であるが、選択科目であり、学生への影響は少ないと考えている。
 学生には、オリエンテーションの機会に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{145} = \boxed{0.68} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	松本大学松商短期大学部と共用 総合グラウンド 借用面積 17,879㎡ 借用期間 平成22年4月1日～42年3月31日			
	校舎敷地	5,465.64 ㎡	31,162.22 ㎡	2,014.94 ㎡	38,642.80 ㎡				
	運動場用地	0.00 ㎡	35,783.23 ㎡	0.00 ㎡	35,783.23 ㎡				
	小 計	5,465.64 ㎡	66,945.45 ㎡	2,014.94 ㎡	74,426.03 ㎡				
	そ の 他	0.00 ㎡	20,278.07 ㎡	0.00 ㎡	20,278.07 ㎡				
	合 計	5,465.64 ㎡	87,223.52 ㎡	2,014.94 ㎡	94,704.10 ㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	松本大学松商短期大学部と共用				
	15,361.59 ㎡ (15,361.59㎡)	7,347.26 ㎡ (7,347.26㎡)	4,292.22 ㎡ (4,292.22㎡)	27,001.07 ㎡ (27,001.07㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	松本大学全体 情報処理学習施設は松本大学松商短期大学部と共用（情報処理学習施設は語学学習施設としても使用。） 平成29年4月 演習室：演習室1室を教職支援センターに用途を変更したため（29） 実験実習室：実習室2室を専任教員研究室に用途を変更したため（29）			
	30 室	67 室	283 室	7 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 - 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成29年4月 専任講師1名を追加採用のため（29）			
	教育学部 学校教育学科		19 -8 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		教育学部	3,184 [229] (1,929 [65])	27 [7] (27 [7])	1 [1] (1 [1])	100 (50)	1300 (1,300)		150 (150)
	計	3,184 [229] (1,929 [65])	27 [7] (27 [7])	1 [1] (1 [1])	100 (50)	1300 (1,300)	150 (150)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			松本大学松商短期大学部と共用		
	1,220.78 ㎡		214 席	169,000 冊					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				松本大学松商短期大学部と共用		
	第一 1964.05㎡ 8号館 881.49㎡		硬式野球場1面、弓道場、テニスコート2面、室内練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300 千円	300 千円	図書購入費	9,131 千円	4,484 千円	200 千円	
	共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	240,752 千円	5,000 千円	5,000 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,330 千円	1,080 千円	1,080 千円	1,080 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	松本大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<<AC対象学部等>> 教育学部 学校教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	0.85	平成29年度	長野県松本市2095番地1号	
健康科学研究科 健康科学専攻	2	6	-	12	修士 (健康科学)	0.49	平成23年度	長野県松本市2095番地1号	
総合経営学部 総合経営学科	4	90	3年次5	370	学士 (総合経営)	1.13	平成14年度	長野県松本市2095番地1号	
観光文化・リテイ学科	4	80	3年次5	330	学士 (総合経営)	1.15	平成18年度	同上	
人間健康学部 健康栄養学科	4	70	3年次5	290	学士 (健康栄養学)	1.07	平成19年度	長野県松本市2095番地1号	
スポーツ健康学科	4	100	3年次5	410	学士 (スポーツ健康学)	1.23	平成19年度	同上	
大学の名称	松本大学松商短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
商学科	2	100	-	200	短期大学士 (商学)	1.09	昭和28年度	長野県松本市2095番地1号	
経営情報学科	2	100	-	200	短期大学士 (経営情報学)	1.10	平成4年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 学校教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
専	教授	川島 一夫 (68) <平成29年4月>	専	教授	川島 一夫 (69) <平成29年4月>	専	教授	川島 一夫 (70) <平成29年4月>
		心理学概論 発達心理学(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			心理学概論 発達心理学(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			心理学概論 発達心理学(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
		増田 吉史 (67) <平成29年4月>			増田 吉史 (68) <平成29年4月>			増田 吉史 (69) <平成29年4月>
		初等算数科指導法 算数科概論 算数科教材研究 算数科教材演習 教職教養特別演習 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			初等算数科指導法 算数科概論 算数科教材研究 算数科教材演習 教職教養特別演習 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			初等算数科指導法 算数科概論 算数科教材研究 算数科教材演習 教職教養特別演習 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
専	教授	今泉 博 (67) <平成29年4月>	専	教授	今泉 博 (68) <平成29年4月>	専	教授	今泉 博 (69) <平成29年4月>
		教職論(初等) 初等算数科指導法 初等理科指導法 授業法の基礎 子どもの学びをつくる 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			教職論(初等) 授業法の基礎 子どもの学びをつくる 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			教職論(初等) 授業法の基礎 子どもの学びをつくる 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
		守 一雄 (65) <平成29年4月>			守 一雄 (65) <平成29年4月>			守 一雄 (66) <平成29年4月>
		知の技法 教育心理学(初等) 認知心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			知の技法 教育心理学(初等) 認知心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			知の技法 教育心理学(初等) 認知心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
専	教授	小島 哲也 (64) <平成29年4月>	専	教授	小島 哲也 (65) <平成29年4月>	専	教授	小島 哲也 (66) <平成29年4月>
		特別支援教育入門 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 知的障害児の教育課程と指導法 発達障害児・者の支援と教育 障害児臨床支援演習Ⅰ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			特別支援教育入門 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 知的障害児の教育課程と指導法 発達障害児・者の支援と教育 障害児臨床支援演習Ⅰ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			特別支援教育入門 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 知的障害児の教育課程と指導法 発達障害児・者の支援と教育 障害児臨床支援演習Ⅰ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
		守 一雄 (65) <平成29年4月>			守 一雄 (65) <平成29年4月>			守 一雄 (66) <平成29年4月>
		知の技法 教育心理学(初等) 認知心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			知の技法 教育心理学(初等) 認知心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			知の技法 教育心理学(初等) 認知心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	小林 敏枝 (63) <平成29年4月> スポーツとノーマライゼーション 特別支援教育入門 肢体不自由児の心理・生理・病理 障害児臨床支援演習Ⅱ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	小林 敏枝 (63) <平成29年4月> スポーツとノーマライゼーション 特別支援教育入門 肢体不自由児の心理・生理・病理 障害児臨床支援演習Ⅱ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	小林 敏枝 (64) <平成29年4月> スポーツとノーマライゼーション 特別支援教育入門 肢体不自由児の心理・生理・病理 障害児臨床支援演習Ⅱ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
専	教授	羽田 行男 (61) <平成29年4月> 教育方法論(初等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 発達障害児・者の支援と教育 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	羽田 行男 (62) <平成29年4月> 教育方法論(初等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 発達障害児・者の支援と教育 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	羽田 行男 (63) <平成29年4月> 教育方法論(初等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 発達障害児・者の支援と教育 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
専	教授	岸田 幸弘 (58) <平成29年4月> 対人関係の心理学 特別活動指導論(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 学校心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	岸田 幸弘 (59) <平成29年4月> 対人関係の心理学 特別活動指導論(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 学校心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	岸田 幸弘 (60) <平成29年4月> 対人関係の心理学 特別活動指導論(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 学校心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
						専	教授	大石 文朗 (59) <平成30年4月> 異文化理解概論 英語圏文化演習Ⅰ 英語圏文化演習Ⅱ 異文化交流海外研修 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
専	教授	武者 一弘 (48) <平成29年4月> 教育制度論(初等) 学校経営(初等) 教育課程総論(初等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	武者 一弘 (48) <平成29年4月> 教育制度論(初等) 学校経営(初等) 教育課程総論(初等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専	教授	武者 一弘 (49) <平成29年4月> 教育制度論(初等) 学校経営(初等) 教育課程総論(初等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	征矢野達彦 (64) <平成29年4月> 地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 道徳教育指導論(初等) 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	専	准教授	征矢野達彦 (64) <平成29年4月> 地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 道徳教育指導論(初等) 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	専	准教授	征矢野達彦 (65) <平成29年4月> 地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 道徳教育指導論(初等) 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
専	准教授	濱田敦志 (52) <平成29年4月> 生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ) 生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	専	准教授	濱田敦志 (53) <平成29年4月> 生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ) 生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	専	准教授	濱田敦志 (54) <平成29年4月> 生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ) 生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
						専	准教授	マナブトシヨウ (51) <平成30年4月> ReadingⅠ ReadingⅡ Public Speaking Writing SkillsⅠ Writing SkillsⅡ Discussion & Presentation Communicative EnglishⅠ Communicative EnglishⅡ 国際交流演習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
専	准教授	澤柿教淳 (48) <平成29年4月> 初等理科指導法 初等生活科指導法 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	専	准教授	澤柿教淳 (49) <平成29年4月> 初等理科指導法 初等生活科指導法 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	専	准教授	澤柿教淳 (50) <平成29年4月> 初等理科指導法 初等生活科指導法 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	秋田真 (46) <平成29年4月>	専	准教授	秋田真 (47) <平成29年4月>	専	准教授	秋田真 (48) <平成29年4月>
		初等社会科指導法 初等生活科指導法 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			初等社会科指導法 初等生活科指導法 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			初等社会科指導法 初等生活科指導法 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>
専	准教授	國府田祐子 (45) <平成29年4月>	専	准教授	國府田祐子 (46) <平成29年4月>	専	准教授	國府田祐子 (47) <平成29年4月>
		地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>
専	准教授	藤枝充子 (45) <平成29年4月>	専	准教授	藤枝充子 (46) <平成29年4月>			
		子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初等) 教育史(初等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初等) 教育史(初等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			
専	准教授	和田順一 (42) <平成29年4月>	専	准教授	和田順一 (43) <平成29年4月>	専	准教授	和田順一 (44) <平成29年4月>
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small>			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール <small>卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)</small> 英語科指導法Ⅰ 英語科指導法Ⅱ 英語科指導法Ⅲ 英語科指導法Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	安藤江里 (50) <平成29年4月>	専	講師	安藤江里 (50) <平成29年4月>	専	講師	安藤江里 (51) <平成29年4月>
		音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
			専	講師	佐藤茂太郎 (38) <平成29年4月>	専	講師	佐藤茂太郎 (39) <平成29年4月>
					初等算数科指導法 算数科教材研究 算数科教材演習 学校ボランティア活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			初等算数科指導法 算数科教材研究 算数科教材演習 学校ボランティア活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
						専	講師	藤原隆史 (37) <平成30年4月>
								英語学概論 英語音声学概論 英語史概論 英語発声演習 英文法演習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
						専	講師	大藤真由美 (34) <平成30年4月>
								子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初等) 教育史(初等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
専	講師	内藤千尋 (28) <平成29年4月>	専	講師	内藤千尋 (29) <平成29年4月>	専	講師	内藤千尋 (30) <平成29年4月>
		学校ボランティア活動 特別支援教育入門 介護等体験入門 特別支援教育総論 発達障害児・者の支援と教育 障害児臨床支援演習Ⅰ 障害児臨床支援演習Ⅱ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			学校ボランティア活動 特別支援教育入門 介護等体験入門 特別支援教育総論 発達障害児・者の支援と教育 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)			学校ボランティア活動 特別支援教育入門 介護等体験入門 特別支援教育総論 発達障害児・者の支援と教育 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)
兼任	教授	住吉廣行 (68) <平成29年4月>	兼任	教授	住吉廣行 (68) <平成29年4月>	兼任	教授	住吉廣行 (69) <平成29年4月>
		地域社会と大学教育 地球環境と人間生活			地域社会と大学教育 地球環境と人間生活			地域社会と大学教育 地球環境と人間生活

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	進藤政臣 (67) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	教授	廣田直子 (63) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	教授	木村晴壽 (62) <平成29年4月>
		地域経済史
兼任	教授	山根宏文 (63) <平成29年4月>
		日本文化
兼任	教授	木藤伸夫 (61) <平成29年4月>
		数学の基礎
		生物学の基礎
		化学の基礎
		地域環境と生態
兼任	教授	林昌孝 (60) <平成29年4月>
		基礎統計学
兼任	教授	眞次宏典 (54) <平成29年4月>
		日本国憲法
兼任	准教授	上野隆幸 (47) <平成29年4月>
		キャリア入門
兼任	教授	福島智子 (44) <平成29年4月>
		生命倫理 文化人類学
兼任	講師	中島節子 (57) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	講師	田邊愛子 (40) <平成29年4月>
		生涯ｽｰﾌﾟI(集团的ｽｰﾌﾟ) 生涯ｽｰﾌﾟII(個人的ｽｰﾌﾟ)
兼任	講師	齊藤茂 (39) <平成29年4月>
		生涯ｽｰﾌﾟI(集团的ｽｰﾌﾟ) 生涯ｽｰﾌﾟII(個人的ｽｰﾌﾟ)
兼任	講師	宮坂るみ (40) <平成29年4月>
		総合英語I 総合英語II TOEIC I TOEIC II
		山浦かおる (53) <平成29年4月>
		総合英語I 総合英語II TOEICIII TOEICIV
兼任	講師	大岩裕子 (59) <平成29年4月>
		総合英語III 総合英語IV
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (62) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II 英会話III 英会話IV
		Mision Miguel (31) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II
兼任	講師	Phillip Eater (39) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	進藤政臣 (68) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	教授	廣田直子 (64) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	教授	木村晴壽 (63) <平成29年4月>
		地域経済史
兼任	教授	山根宏文 (63) <平成29年4月>
		日本文化
兼任	教授	木藤伸夫 (61) <平成29年4月>
		数学の基礎
		生物学の基礎
		化学の基礎
		地域環境と生態
兼任	教授	林昌孝 (61) <平成29年4月>
		基礎統計学
兼任	教授	眞次宏典 (55) <平成29年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	上野隆幸 (48) <平成29年4月>
		キャリア入門
兼任	教授	福島智子 (44) <平成29年4月>
		生命倫理 文化人類学
兼任	講師	中島節子 (57) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	講師	田邊愛子 (41) <平成29年4月>
		生涯ｽｰﾌﾟI(集团的ｽｰﾌﾟ) 生涯ｽｰﾌﾟII(個人的ｽｰﾌﾟ)
兼任	准教授	齊藤茂 (39) <平成29年4月>
		生涯ｽｰﾌﾟI(集团的ｽｰﾌﾟ) 生涯ｽｰﾌﾟII(個人的ｽｰﾌﾟ)
兼任	講師	宮坂るみ (41) <平成29年4月>
		総合英語I 総合英語II TOEIC I TOEIC II
		山浦かおる (54) <平成29年4月>
		総合英語I 総合英語II TOEICIII TOEICIV
兼任	講師	大岩裕子 (60) <平成29年4月>
		総合英語III 総合英語IV
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (63) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II 英会話III 英会話IV
		Mision Miguel (31) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II
兼任	講師	Phillip Eater (39) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	進藤政臣 (69) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	教授	廣田直子 (65) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	教授	木村晴壽 (64) <平成29年4月>
		地域経済史
兼任	教授	山根宏文 (64) <平成29年4月>
		日本文化
兼任	教授	木藤伸夫 (62) <平成29年4月>
		数学の基礎
		生物学の基礎
		化学の基礎
		地域環境と生態
兼任	教授	林昌孝 (62) <平成29年4月>
		基礎統計学
兼任	教授	眞次宏典 (56) <平成29年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	上野隆幸 (49) <平成29年4月>
		キャリア入門
兼任	教授	福島智子 (45) <平成29年4月>
		生命倫理 文化人類学
兼任	講師	中島節子 (58) <平成29年4月>
		こころと体の健康
兼任	講師	田邊愛子 (42) <平成29年4月>
		生涯ｽｰﾌﾟI(集团的ｽｰﾌﾟ) 生涯ｽｰﾌﾟII(個人的ｽｰﾌﾟ)
兼任	准教授	齊藤茂 (40) <平成29年4月>
		生涯ｽｰﾌﾟI(集团的ｽｰﾌﾟ) 生涯ｽｰﾌﾟII(個人的ｽｰﾌﾟ)
兼任	講師	宮坂るみ (42) <平成29年4月>
		総合英語I 総合英語II TOEIC I TOEIC II
		山浦かおる (55) <平成29年4月>
		総合英語I 総合英語II TOEICIII TOEICIV
兼任	講師	大岩裕子 (61) <平成29年4月>
		総合英語III 総合英語IV
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (64) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II 英会話III 英会話IV
		Mision Miguel (32) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II
兼任	講師	Phillip Eater (40) <平成29年4月>
		英会話I 英会話II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Frith David Howard (40) <平成29年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	荒井克美 (45) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	稲増佳代 (31) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	鈴木葉子 (42) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	白鳥敬日瑚 (58) <平成29年4月>
		ICTと情報倫理
兼任	講師	内川小百合 (65) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	松尾千鶴 (35) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	小林美代子 (54) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	松澤みわ子 (53) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	河西文字 (49) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 III (EXCEL上級)
兼任	講師	駒村明子 (47) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 III (EXCEL上級) 情報処理 IV (パワーポイント) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	永田綾子 (42) <平成29年4月>
		情報処理 IV (パワーポイント) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	護山真也 (44) <平成29年4月>
		哲学
兼任	講師	江成康明 (66) <平成29年4月>
		新聞に見る社会の動き 環境社会学
兼任	講師	糸井重夫 (56) <平成29年4月>
		経済入門 国際経済 海外研修 I 海外研修 II 海外事情 I 海外事情 II
兼任	講師	小松芳郎 (66) <平成29年4月>
		近代日本の歴史 地域の歴史 地域の伝統行事
兼任	講師	松原健二 (59) <平成29年4月>
		比較文化
兼任	講師	水橋文雄 (67) <平成29年4月>
		ごみ処理と循環型社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Frith David Howard (41) <平成29年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	荒井克美 (45) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	稲増佳代 (32) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	鈴木葉子 (42) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	白鳥敬日瑚 (59) <平成29年4月>
		ICTと情報倫理
兼任	講師	内川小百合 (66) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	松尾千鶴 (36) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	小林美代子 (55) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	松澤みわ子 (53) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	河西文字 (50) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 III (EXCEL上級)
兼任	講師	駒村明子 (48) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 III (EXCEL上級) 情報処理 IV (パワーポイント) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	永田綾子 (42) <平成29年4月>
		情報処理 IV (パワーポイント) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	護山真也 (45) <平成29年4月>
		哲学
兼任	講師	江成康明 (66) <平成29年4月>
		新聞に見る社会の動き 環境社会学
兼任	講師	糸井重夫 (56) <平成29年4月>
		経済入門 国際経済 海外研修 I 海外研修 II 海外事情 I 海外事情 II
兼任	講師	小松芳郎 (67) <平成29年4月>
		近代日本の歴史 地域の歴史 地域の伝統行事
兼任	講師	松原健二 (60) <平成29年4月>
		比較文化
兼任	講師	水橋文雄 (68) <平成29年4月>
		ごみ処理と循環型社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Frith David Howard (42) <平成29年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	荒井克美 (46) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	稲増佳代 (33) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	鈴木葉子 (43) <平成29年4月>
		TOEIC I TOEIC II
兼任	講師	久保田裕 (81) <平成30年4月>
		ICTと情報倫理
兼任	講師	内川小百合 (67) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	松尾千鶴 (37) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	小林美代子 (56) <平成29年4月>
		情報処理 I (WORD)
兼任	講師	松澤みわ子 (54) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	河西文字 (51) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 III (EXCEL上級)
兼任	講師	駒村明子 (49) <平成29年4月>
		情報処理 II (EXCEL初級) 情報処理 III (EXCEL上級) 情報処理 IV (パワーポイント) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	永田綾子 (43) <平成29年4月>
		情報処理 IV (パワーポイント) 情報処理 V (ホムページ)
兼任	講師	護山真也 (46) <平成29年4月>
		哲学
兼任	講師	江成康明 (67) <平成29年4月>
		新聞に見る社会の動き 環境社会学
兼任	講師	糸井重夫 (57) <平成29年4月>
		経済入門 国際経済 海外研修 I 海外研修 II 海外事情 I 海外事情 II
兼任	講師	小松芳郎 (68) <平成29年4月>
		近代日本の歴史 地域の歴史 地域の伝統行事
兼任	講師	松原健二 (61) <平成29年4月>
		比較文化
兼任	講師	水橋文雄 (69) <平成29年4月>
		ごみ処理と循環型社会

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
						砂 裕子 伊藤 (55) <平成30年4月> Reading I Public Speaking Writing Skills I Discussion & Presentation Communicative English I
						櫻井 智子 (38) <平成30年4月> TOEIC総合演習 I TOEIC総合演習 II TOEIC総合演習 III TOEIC総合演習 IV
						勝山 篤子 (47) <平成30年4月> TOEFL演習 I TOEFL演習 II

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・留意事項への対応により、平成29年4月佐藤講師就任。平成28年11月教員審査済。
- ・兼任教員の昇進により、上野准教授が教授に昇進。
- ・兼任教員の昇進により、齋藤講師が准教授に昇進。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として山崎講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として狩野講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として安達講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として滝川講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として吉川講師を採用。

【平成30年度】

- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月大石教授就任。平成29年11月教員審査済。
- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月マーメット准教授就任。平成29年11月教員審査済。
- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月藤原講師就任。平成29年11月教員審査済。
- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月和田准教授の担当科目を追加。平成29年11月教員審査済。
- ・平成29年9月藤枝准教授辞任により、平成30年4月大蔵講師就任。平成29年11月教員審査済。
- ・兼任講師の辞任に伴い、白鳥講師を久保田講師に変更。
- ・兼任講師を人間健康学部専任教員に採用したことに伴い、山崎兼任講師を兼任教員に変更。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師として金子講師を採用。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師としてルジチカ講師を採用。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師として櫻井講師を採用。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師として勝山講師を採用。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	7	2	0	18	10	7	5	0	22	10	7	5	0	22
(9)	(7)	(2)	(0)	(18)						[1]	[0]	[3]	[0]	[4]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	5 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{18} = \boxed{122.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{5}{22} = \boxed{22.72} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)										
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	藤枝 充子	選択	子どもの育ちと教育	①	H29.9.30付け他大学への移籍のため辞任 (30)				
			選択	地域課題研究	①					
			選択	学校ボランティア活動	①					
			必修	教育基礎論(初等)	①					
			選択	教育史(初等)	①					
			選択	教育史研究	①					
			必修	介護等体験入門	①					
			選択	地域学校教育活動	①					
			必修	基礎ゼミナールⅠ	①					
			必修	基礎ゼミナールⅡ	①					
			必修	教職入門ゼミナール	①					
			必修	教職研究基礎ゼミナール	①					
必修	教職研究ゼミナール	①								
必修	卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	①								
合計 (F)										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{18} = 5.55 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1							
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>平成29年4月に着任した専任教員のうち准教授1名が、親の介護が必要となったことから、急遽辞任した。やむを得ない理由と考えられ、本学としても承諾せざるを得なかったため、直ちに後任補充を行なった。</p> <p>辞任した准教授が担当予定であった「地域課題研究」は開講しなかった。本科目は1年次開講科目であるが、選択科目であり、後任の専任教員(講師)により平成31年度に開講予定である。学生にはオリエンテーションの機会に3年次または4年次に履修が可能であることを周知しており、学生への影響は少ないと考えている。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (28年8月)	1. 「発達障害児・者の支援と教育」において重度・重複障害の内容を行うことが示されたが、発達障害と重度・重複障害は異なる領域であるため、授業科目の概要を修正するとともに、科目名称を適切に改めること。	留意事項	当該科目については、名称を「発達障害児・者等の支援と教育」に改め、併せて科目の概要を修正した。「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、平成28年11月のAC教員審査において可の判定を得た。(29)	該当なし
	2. 教員の補充を必要とされた5授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。	留意事項	当該5授業科目については、それぞれ専任教員を補充した。「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、平成28年11月のAC教員審査において可の判定を得た。(29)	該当なし
	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度を見据え、適切な教員組織編成となるよう計画的に教員を採用するための検討を進めている。「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、平成28年11月のAC教員審査において可の判定を得て、新たに専任教員1名(37歳、講師)を採用した。(29)	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	教育学部学校教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	完成年度を見据え、適切な教員組織編成となるよう計画的に教員を採用するための検討を継続的に進めている。英語教育の強化とあわせ平成29年11月のAC教員審査において可の判定を得て、平成30年4月より新たに専任教員3名(教授:59歳、准教授:51歳、講師:37歳)を採用した。また、辞任した専任教員(准教授:46歳)の後任として専任教員(講師:34歳)を補充した。(30)	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<教育学部 学校教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 別紙1（33ページ）のとおり</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員9人</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成29年4月20日（木） 7人出席・ 他、メールを利用した委員会を随時開催。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自己点検・評価報告書について・ 授業評価アンケートの実施について・ 授業中間アンケートの実施について・ 授業参観の実施について・ 卒業生アンケートの実施について・ FD活動について 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業評価アンケート・ 教員相互による授業参観・ 新任教員研修会・ 講演会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 前期、後期の終わりに学生による授業評価アンケートを実施。アンケート結果を基に「授業改善計画」を策定し、報告書を作成。・ 前期、後期において授業全期間を対象とし、教員相互による授業参観を実施。感想、意見等をアンケートとして提出。・ 外部講師を招聘し、講演会形式の研修会を実施。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業評価アンケートは、専任教員においては前・後期各2科目程度、非常勤講師の全科目について実施。
 - ・ 専任教員による授業参観後のアンケート提出状況は、前期では30.7%（88人中27人提出）、後期は31.8%（88人中28人提出）。
 - ・ 平成29年5月31日（水）「2016年度在学成績状況について」「2017年度入学生のプレイスメントテスト結果について」をテーマに実施し、78人出席。
 - ・ 平成29年8月4日（金）科研費獲得セミナー「科研費の採択を目指して」を演題とした講演会を実施し、64人出席。
 - ・ 平成29年9月12日（火）「教育手法の改善とその評価」をテーマに「大学におけるパフォーマンス評価の理論と方法」を演題とした講演会を実施し、56人出席。
 - ・ 平成29年12月4日（月）「高大接続改革の現在～大学入学者選抜改革の動向～」をテーマに「高大接続改革」を演題とした講演会を実施し、39人出席。
 - ・ 平成30年2月28日（水）全国の短期大学に呼びかけられた「短大フォーラム」の第2回目を本学が幹事校となって開催し、学部教員を含む67人出席。
 - ・ 平成30年3月1日（木）「教育手法の改善とその評価」をテーマとしたAPフォーラムを開催し、「金沢工業大学の教育改革とAP」「京都光華女子大学短期大学部の教育改革とAP」と題した講演会に41人出席。
 - ・ 新任教員研修については、対象学部長に依頼し、実施。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ アンケート結果を基に「授業改善計画」を策定するとともに、授業評価報告会による結果に対する議論の実施。
 - ・ 学生の意見をもとにした改善への意識をもっと高めるような仕向けが必要。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 年2回、前期、後期の終わりに学生による授業評価アンケートを実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ データ読み取りシステムを導入し、専任教員は生データにアクセスできるようになり、データ分析も容易になった。
 - ・ 集計結果は、システム上で確認できるとともに、報告書としてとりまとめ、各教員へ配付。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2（34ページ）のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年9月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、全教員に配付、学生が閲覧できるよう学生センターや図書館に配置。
・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（(財)日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 30 年 6 月 1 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

松本大学FD・SD運営部会規程

松本大学規程第07-003号

平成19年 4月 1日

(目的)

第1条 本学における教育理念及び教育目標の達成に向けての教育活動の質的向上を図ることを目的とし、これに全学的かつ組織的・継続的に取り組むために、本学にFD・SD運営部会を置く。

(管掌事項)

第2条 FD・SD運営部会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を管掌する。

- (1) FD・SDに関する年度計画の推進及び次年度計画の提案
- (2) 教育の質的向上に関する施策の企画・立案及び支援
- (3) 事務職員の能力向上に関する事項
- (4) FD・SDに関する啓発活動
- (5) その他、FD・SDの推進に関する事項

(組織)

第3条 FD・SD運営部会は、次に掲げる者で組織する。

- (1) 研究科及び各学部から各1名以上
- (2) 管理課長
- (3) 教務課長
- (4) その他、必要に応じて学長が委嘱する者

(部会長等)

第4条 部会長は学長が委嘱した者とする。

- 2 部会長はFD・SD運営部会を招集し、議長を務めることとする。
- 3 部会長が必要と認めたときは、その指名により副部会長を置くことができる。
- 4 副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(任期)

第5条 FD・SD運営部会員の任期は1年とし、再任を妨げない。

- 2 欠員が生じた場合は、後任の任期は前任者の残任期間とする。

(学長等の出席)

第6条 学長はFD・SD運営部会に出席し、意見を述べることができる。

- 2 FD・SD運営部会は、必要に応じてFD・SD運営部会員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 FD・SD運営部会の事務は、管理課及び教務課が担当する。

(補足)

第8条 この規程に定めるもののほか、FD・SD運営部会に関し必要な事項は、FD・SD運営部会が定める。

附 則

この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。

この規程は、平成26年 4月 1日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括的評価・所見

[教員組織]

平成 29 年 4 月 1 日付で 19 人すべての専任教員が着任したが、平成 29 年 9 月 30 日付で准教授 1 名が親の介護が必要となったことから急遽退任した。このことに対応した後任補充と英語教育の強化とを併せ、また「定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高い」との意見も踏まえつつ、平成 30 年 4 月 1 日付で新たに 4 人の専任教員を採用した。いずれも平成 29 年 11 月の AC 教員審査において可の判定を得ている。今後も「ベテラン教員との引き継ぎが上手くできるように、任用時期に重なりを持たせるなどの工夫を凝らし、若い教員を計画的に補充する」ことを具現化していくために、完成年度を見据えて計画的に教員組織の整備を進める。

[学生の支援体制]

・学校ボランティア活動

1 年次後期に「学校ボランティア活動」を開講した。選択科目ではあるものの、活動の意義を理解した全学生が履修し、松本市及び近隣の安曇野市の小学校 18 校で活動を行なった。一部の学校においては「学生に何を活動してもらおうか」について大学の意図が十分に伝わらず、学生のイメージと実際の活動との違いに学生・現場双方が戸惑う場面があったことは今後の反省点であるが、この経験を踏まえて学校現場との連携を密にし、2 年次に開講される「学校インターンシップ」、3 年次の「初等教育実習」へつなげていく。

・教員採用試験対策

将来、教員採用試験を受ける学生が多いと予想されることから、本学の教員が独自に試験問題を作り「松大模試」として初年次から全学生に実施した。受験後はすべての学生にフィードバックを行い、理解をより深めるための解説講座も実施した。学生が早期に自分の弱点を知ることによって余裕を持って対策できるようになることを目指している。

・フレッシュマンセミナー

教職について理解を深めると共に、学生同士や学生と教職員の親睦を兼ねて一泊二日の日程でフレッシュマンセミナーを実施した。野外炊飯など小学校教員として必要となる体験や、長野県教育委員会の方の講演を元にグループディスカッションを行い、教職について考える等の機会を設けた。平成 30 年度は 1, 2 年生合同で実施し、上級生が下級生に「教える」経験も積ませていく。

[地域社会との連携]

・教育相談・共同研究推進センター

学部が保有する教育分野の専門性を広く還元するためのセンターを計画通り設置した。最初の取り組みとして、学校や教育関連機関の教員に特化した「教師のための相談サポート」ページを公式 Web サイト内に開設した。相談分野は「学級経営」「生徒指導」「教科教育」「特別支援教育」とし、相談は全専任教員が担当することとしている。

・社会進出支援センター

特別支援学校教諭育成に関する医療・福祉関係者との協働を推進するための支援センターを計画

通り設置した。特別支援学校や障害者支援の経験がある人材をセンターに配置し、特別支援学校とのニーズ調整、実習場所の整備等に着手した。

【学科の将来を見据えた準備】

・英語課程の設置

設置の趣旨に「グローバル人材育成に向け、小学校での英語教科化を視野に入れ、英語活用能力を養う科目を配置する。」と記載したことに基づき、その能力の担保として「中学校教諭一種免許状（英語）」並びに「高等学校教諭一種免許状（英語）」が取得できるよう課程認定申請を行い、平成 30 年 4 月に課程の設置をすることが認定された。具体的には「専門応用・発展科目」に「英語教育に関する科目群」を置き、31 科目 62 単位（すべて選択科目）を配置した。

・海外（英語圏）留学促進の取組み

海外に留学する心理的ハードルを下げ、留学に関心を持つ学生の増加を狙い、国内で海外留学が体験できる施設「ブリティッシュ・ヒルズ（福島県）」での短期留学体験を企画し、募集に応じた 16 名の学生が参加した。

・ALT（Assistant Language Teacher）／NLT（Native Language Teacher）研修会への参加

本学で開催された長野県内の ALT／NLT の研修会に教育学部 1 期生が参加し、授業体験を行った。小学校及び中学校の模擬授業に本学学生が児童・生徒役で参加して授業を体験、振り返りを行なうことで、早期に ALT とのティームティーチングがどのようなものであるかを体験し、小学校教員としての学びに役立てる。

・English Café

大学全体の取り組みとして、English Café を試行的に 4 回開催し、気軽にネイティブ・イングリッシュに触れられる機会を提供した。毎回参加者の約半数は教育学部生であり、参加した学生全員から継続を希望する声が上がったため、平成 30 年度は講義期間中の毎週 3 回、定期的かつ継続的に実施する。

・eラーニングシステムの導入

TOEIC 対策を中心とした eラーニングシステムを導入した。教育学部においては従来の入学前教育に加え、推薦入試・AO 入試合格者を対象に活用を促し、大学での英語学習へのスムーズな移行を目指した。

【学生募集状況】

初年度定員割れという結果を受け、今年度は長野県内の高等学校を中心に精力的に高校訪問を行うと同時に、高校生を対象とした進学説明会には広域にわたって積極的に参加した。特に、高校訪問については、教育学部教員を同行しての訪問を行い、入試情報だけでなく、教育学部の理念や人材育成について理解の促進を重視した。高校訪問時には、1 期生からヒアリングしたメッセージを、恩師、進路指導室に伝えることも行い、入学後の学生の心境の変化など、進学後の状況についても報告を行った。

進学校及び県外高校への PR の工夫として、主要高校からの入学生を取り上げ、「何故松本大学を選んだのか」を学生自らの言葉で語った、教育学部独自の学科案内パンフレットの制作を行い、本学ならではの特長を説明会や DM 等広く告知することに努めた。

最終的な志願者総数は 189 人と、昨年の 278 人に対して大幅な減少となってしまったものの、実

際に教育学部が動き出したことから認知が広まり、推薦入試の志願者及び本学を第一志望と考える受験生は増加したと思われる。そのため入学者は、定員の 80 人には及ばなかったものの、昨年を上回る 72 名となった。これは、中学校教諭並びに高等学校教諭免許の英語課程が認定されたことも大きな理由であったと考えている。

平成 30 年度においては、教員や学生の活動がさらに拡大する。地域と連携した諸活動を、わかりやすくタイムリーにリリースし、本学ならではの教育手法を受験生、保護者、高校の教員に丁寧に示しながら、その魅力を伝えていく。

また、教員養成系統の進学説明会について、高校 1, 2 年生が対象となっている場合は、教育学部の教員を必ず同行し、「教育学部の説明」だけでなく、教員への憧れや、やりがいを訴求することで、教員志望者の裾野を広げる広報活動を展開する。